

国語科 授業デザイン

日 時：平 25 年 12 月 6 日（金）第 3 校時（10 時 40 分～11 時 30 分）
学 年： 中学部 2 年
授 業 場 所： 本校 中学部 2 年教室

1. 単元（題材）名

モアイは語る—地球の未来

2. 単元（題材）の目標

- ・イースター島での出来事をもとに，筆者が主張していることを読み取り、述べる。
- ・根拠となる事実を確かめながら，文章の構成や表現の仕方をとらえる。
- ・事実を示しながら，自分の意見を書く。

3. 単元（題材）の指導計画

指導計画（全 4 時間）

| 時 | 主な学習活動・内容 | 主な使用機器 |
|-------|--|---|
| 第 1 時 | <ul style="list-style-type: none">・音読。・四つの疑問に線を引く。・疑問①②の答えを探し，教科書に線を引く。・何を根拠にそう書いたのか，箇条書きで書く。 | IWB, TPC, デジタル教科書 |
| 第 2 時 | <p>疑問③④の答えを探す。</p> <ul style="list-style-type: none">・モアイを作った文明はようになったのか，教科書に線を引く。・モアイが作られなくなった原因は何か，教科書に線を引く。・森が消滅してから文明が崩壊するまでの経緯を模式図で表す。どのような事実に基づいているかも書く。 | IWB, TPC デジタル教科書, 教材提示装置, 学習支援システム |
| 第 3 時 | <ul style="list-style-type: none">・模式図の続きをする。・模式図を発表する。・筆者の主張について確認する。・筆者の警告を聞いて，私たちの資源の使い方はどうであるか。自分はどうしようと思ったか，意見文を書く。 | IWB, TPC, 教材提示装置, 学習支援システム |
| 第 4 時 | <ul style="list-style-type: none">・意見文の続きを書く。・意見文を発表する。・互いの意見文について，評価をし合う。・コメントを聞き，自分の改善点を書く。（本時 4 / 4） | IWB, TPC, 学習支援システム |

4. 本時の目標

- (1) 事実を示しながら，自分の意見を書くこと。
- (2) 意見文を交流し，評価し合うこと。

5. 本時の情報通信技術（ICT）活用

| | |
|-----------|--|
| 活用する場面 | ・導入 ・展開 ・まとめ |
| 活用する者〔目的〕 | ・生徒〔・個別学習 ・一斉学習 ・協働学習〕 ・指導者 〔・課題提示 ・交流〕 |
| 活用するコンテンツ | |
| 活用する機器 | ・IWB ・TPC ・教材提示装置 |

6. 本時の展開

| | 学 習 活 動 | 活用機器 (活用者) | 指導上の留意点・支援内容 【ICTによる支援】 |
|------------------------|--|----------------------|---|
| 導 入 10 分 | 個別学習 ① 意見文の続きを書く。 | IWB(指導者), TPC(生徒) | 【IWB, TPC】 構成のパターン ①一文で書く。 ②文章で書く。 |
| 展 開 15 分 | 一斉学習 ① 意見文を発表する。 | IWB(指導者), TPC(生徒) | 【IWB, TPC, 学習支援システム】 ・各自の意見文を順番にIWB に出す。 ・話す速度や音量, 言葉の調 子や間の取り方などに注意 して, わかりやすい発表とな るよう支援する。 |
| ま と め 25 分 | 個別学習→一斉学習→個別学習 ①互いの意見文について, 評価をし合う。 ②コメントを聞いて, 自分の改善点を書 く。 | IWB(指導者), TPC(生徒) | 【IWB, TPC, 学習支援システム】 ・相手が述べている意見に説 得力があるかどうか, コメント する。 ・意見そのものの是非を問う ものではない。 |

7. 本時の評価（評価の観点・観点別の評価を含む）

- (1) 事実となる事柄を示しながら, 文章を書くことができたか。
- (2) 意見文を読み, 評価できたか。

8. 準備物

IWB, TPC, 学習支援システム, 付箋